

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	平成29年 7月 31日
住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地） 広島県福山市曙町1-13-15	氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 代表取締役社長 佐藤 守正

環境マネジメントシステムの名称	エフピコエコアクション50（FPEA-50）
適用範囲	エフピコ及びエフピコグループ
導入年月日	2006/4/1
認証番号	自社独自マネジメント。第三者認証の取得はなし
基本方針	【別紙にて記載】 エフピコホームページを参照 <a href="http://www.fpco.jp/csr/environmenteffort.html">http://www.fpco.jp/csr/environmenteffort.html</a>
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	【別紙にて記載】 エフピコグループの長期目標 エフピコレポート2017 42Pを参照
目標を達成するための取組の内容	【各部門2018年度までの目標】 ・製品の軽量化（2015年度比1.5%削減） ・生産量あたり電力量の削減（2007年度比15%削減） ・物流のCO2削減（2015年度比総量を16.1%増に抑える） ・オフィスの環境負荷の見える化及び削減 ・容器及びPETボトルの回収・リサイクルの推進 ・低炭素型製品であるエコトレー、エコAPETの販売拡大 etc
目標を達成するための取組の進捗状況	長期目標について ・2003年度比 総排出量 33%増加（2016年度実績） ・2003年度比 排出原単位 10%削減（2016年度実績） ※新規生産工場の増設及び製品出荷の増大、電力会社のCO2排出係数が悪化した影響が出ている
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	・製品の軽量化（2015年度比1.5%増加） ・生産量あたり、14.5%の電力使用量の削減（2007年度比） ・物流時のCO2 15%増加（2015年度比） ・エコトレーの販売、汎用トレーの59%。 生産量の増加、原油安の影響により全体の環境負荷は増加したが原単位は削減できている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	事業活動における法律遵守については、「法的要求事項チェックリスト」及び「遵守評価表」を用いて各工場にてチェック及び評価を実施。各事業所（亀岡工場も同様）とも法令遵守を確認している。特に問題はなし。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境マネジメントシステムについては問題なく対応できている。 企業合併による新規のグループ会社に対してのマネジメントシステム導入についても随時実施している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。